

人

スペイン語学科3年 齊藤 あゆみ

「自問」

今この悲しみをなんとしよう
何もできずに足掻き呻き
唯思いを語んずばかり
日頃を費やしぼそりぼそり
私は何所にいるのだろう
在るべき場所が見つからず
盲目にして憚らず
怠惰なに涙を流し
私は刹那を眠るだろう
怠惰は枷 盲目は咎
思考を放棄するは人なるか

「憧憬」

人形なら痛みを感じない
私は人形になりたかった
人形なら容姿が変わらない
私は人形になりたかった
けれど人形たりとも移り変わる
森羅万象の流転の理
往くべき場所を探しもせず
無知にして顧みず
魯鈍な心に垂らし
私は永久を眠るだろう
無知は罪 魯鈍は茨
意思を放棄するは人なるか

人形も傷はつく
私は本当に人形になりたいか
人形も壊れて朽ちる
私は本当に人形になりたいか
痛み 軋み 傾いで止まる
それは人も人形も同じ
人は考える ありとあらゆることを
人は感じる ありとあらゆるものを
たとえそれが無価値であっても
意思をもつなら人形ではない
人は変わる 悪しきも善きも
人は思う 悪しきも善きも
たとえそれが道を外れても
意志を持つなら人形ではない
人間が人形になれても人形は人間になれない

「世界」

言葉が作る世界 言葉で創る世界
人は言葉をもち あちこちでさざめく
思いが語る世界 思いで綴る世界
人は意思をもち あちこちでさざめく

楽しすぎて日々謳う 苦しすぎて時々呻く
狂おしく 愛おしい 私たちの世界
嬉しすぎて日々踊り 悲しすぎて時々嘆く
厭らしく 慕わしい 私たちの世界

人の言葉と意思とで変革する
私たちの世界

言葉から始まった私たちは
言葉から何かを成しはじめた
意思から目覚めた私たちは
意思から何かを創りはじめた

「大嫌いで大好きな君へ」

それは広がり地に満ちた
それは交わり子を成した
それは争い殺し合った
それは戦い磨き合った

意思を成すには不器用で
言葉を交わすには臆病で
それらをうまく伝えられない
人形を願うほど愚かで
何かを願うほど無為で
それらを願うたびに過ってしまう

心を殺して沈んでいくのは惜しすぎる
他を殺して沈ませるのも惜しすぎる
何もしないで生きるには
惜しすぎる私たちの世界

歌おう 心から 声を届けるために
戦おう 心から 弱さを払うために
思いが言葉に 言葉が歌に
歌は声にのり 遠くに響く
痛む心を引き連れて 君は何処まで行く
痛む軀を引き摺って 君は何処まで行ける
声が枯れても 思いが歌えるように
戦いに負けても 君は敗者でないように

正気も狂気も同じだろう
それでも伝えたいものがある